

第84期 中間事業のご報告

平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日

60

th

ABC

蝶々・雄二の夫婦善哉

お笑い花月劇場 TV-JACK

ポップ対歌謡曲

ABCお笑い新人グランプリ

てなもんや三度笠

名ポーズ

すんげーBEST10

キスした? SMAP

しゃべり社員

驚きももの木20世紀

大作戦

靈感
ヤマガ
第六感

ABCのす
ワイド

合コン!合宿!解放区

夕焼けの松ちゃん浜ちゃん

わいわいサタデーさんまの駐在さん

ラブアタック!

びっくり捕物帳

味の招待席

部長刑事

おはようパーソナリティ
中村鋭一です

おはよう朝日です

新婚さん
いらっしゃい!

プラスα

お荷物小荷物 和朗亭

三枝の

国盗団
ゲーム

必殺仕事人

人気者でいこう! クイズ仕事人

世界一周
双六ゲーム

ABCヤングリクエスト

お笑い甲子園

お笑い甲子園

爆笑コメディなんじゃそら3人組み

たけしの万物創世紀

TV-MAGAZINE

晴れ時々
たかじん

CLUB紳助 ざこば鶴瓶 らくごのど
ハイヒールのどんなんかな予備校



代表取締役社長 渡辺克信

株主の皆様方には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

朝日放送グループの第84期中間期(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)の連結業績は、主力事業である放送事業において収益性の改善が図られたこともあり、売上高・利益ともに前年同期を上回る結果となりました。

当期の日本経済は、EU諸国の財政問題や、円高の進行などの懸念材料がありながらも、政府の緊急経済対策の効果などを背景に、個人消費が持ち直し、企業収益の改善が見られました。このような経済環境のもと、当グループにおいてもスポットCMが回復するなどして、放送事業を中心に収益の向上を果たすことができましたが、景況の見通しについては未だ不透明感は拭えません。

当社では従前より、収益増強のためにコンテンツ関連収入の強化に

取り組んでおります。今春には組織改革を行い、コンテンツビジネスに関わる収益部門を一体化させた「総合ビジネス局」を発足させ、当社の「良質で強力なコンテンツ」をより効率的に収益に結びつける体制を整えました。従来になかったビジネスの取り組みを模索し、デジタル時代における新たな収益機会を確実にとらえ、収益の安定・拡大に努めてまいります。

また、来年3月には、当社は創立60周年を迎えます。これに先立ち、この11月からは1年半にわたる朝日放送創立60周年の記念期間に入りました。初心に戻り、新たなるチャレンジを試みようとの意味をこめた「さあ、ABCからはじめよう。」の60周年スローガンのもと、様々な記念の番組やイベントがラインナップされております。株主の皆様方におかれましては、どうぞご期待いただきますとともに、引き続きご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

朝日放送信条

- 一、平和と自由の精神を貫き、地域社会と文化の向上につとむ。
- 一、進歩と寛容の理念により、品位と責任を重んじ、社会の信頼にこたえる。
- 一、報道と評論は常に中正な立場に立つて、真実を正しく敏速に伝える。
- 一、番組は良識と知性を高めつつ、楽しさとやすさを与える。
- 一、広告は誇張を排し、清新な創意によって産業の発展を期する。

- 正しい報道 **A**ccurate information
- 美しい表現 **B**eautiful expression
- 楽しい番組 **C**heerful programs

INDEX

- ごあいさつ・・・1
- テレビ・・・5
- ラジオ・・・7
- イベント・・・9
- コンテンツ事業・・・10
- 創立60周年・・・11
- 連結財務諸表・・・13
- 会社データ・・・17

平成22年12月

代表取締役社長 渡辺克信

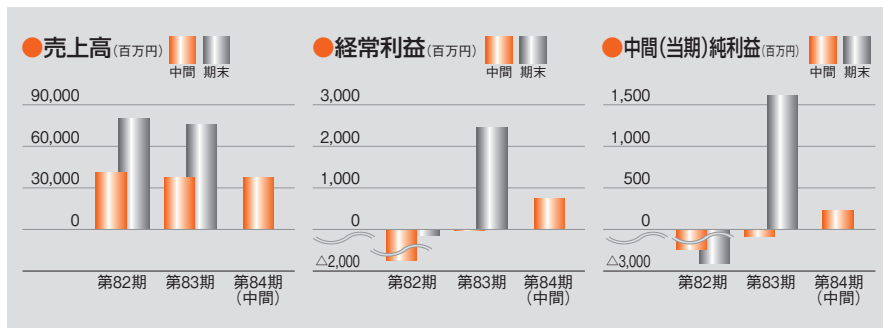
□ ハイライト

● 第84期中間期連結業績

売上高 377億9百万円

経常利益 7億3千8百万円

中間純利益 2億2千8百万円



主力の放送事業では、テレビスポット収入において関西地区投下額が前年同期を上回ったことに加え、当社の好調な視聴率を背景にシェアを拡大したことにより、増収となりました。

一方、費用面では、さらなるコスト削減を進め、売上原価は前年同期に比べて5億5千9百万円(△2.1%)の減少、販売費及び一般管理費については1億2千4百万円(△1.1%)の減少となりました。

以上の結果、経常利益は7億3千8百万円となり7億5千2百万円の増益となりました。また、中間純利益は2億2千8百万円となり3億3百万円の増益となりました。

□ セグメント

● セグメント別 売上高

放送事業 331億7千6百万円

ハウジング事業 40億9千8百万円

ゴルフ事業 4億3千4百万円

● 放送事業

好調な視聴率を背景に、テレビスポット収入が増収となりましたが、広告主が固定費を避ける傾向が強くなり、タイム収入については減収となりました。

一方、費用の面では、さらなる業務改善によるコスト圧縮や番組編成の見直しなどを実施しましたので売上原価、販売費及び一般管理費ともに減少しました。

その結果、営業利益は3億2千3百万円となり、前年同期と比べ7億2千8百万円の増益となりました。

● ハウジング事業

主力の住宅及び住関連展示場事業において、新規会場による増収がありましたが、閉鎖した会場もあり、前年同期に比べ減収となりました。

費用の面ではさらなるコスト見直しを図った結果、営業利益は3億3千万円となり、前年同期と比べ5千2百万円の増益となりました。

● ゴルフ事業

積極的な顧客誘致などが実を結び、前年同期に比べ入場者数が増えましたが、客単価が下落したため、減収となりました。

● **プライム帯・プライム2帯の二冠。**

朝・夕・夜11時台のABC制作3ベルト番組や、プライム帯のABC発ネット3番組など自社制作番組の強化継続をし、当期も安定した支持を得ております。

当上半期の視聴率は、全日帯は1位に0.1ポイントの僅差で惜しくも2位、プライム帯、プライム2帯の2部門で1位となり、2冠を獲得しました。プライム帯は昨年上半期以来、プライム2帯は平成15年から15期連続の1位となります。

● **平均視聴率(平成22年4月～9月)**

全日 (午前6時～午前0時)	8.4%	2位
プライム (午後7時～午後11時)	13.4%	1位
プライム2 (午後11時～午前1時)	10.0%	1位
ゴールデン (午後7時～午後10時)	12.2%	2位

● **プライム2帯(午後11時～午前1時)**

プライム2帯では、月曜日から木曜日夜11時台のローカルベルト番組、「ナイトinナイト」の上半期平均視聴率が12.5%、金曜日の「探偵!ナイトスクープ」が19.2%と、いずれも前年度に続いて堅調に推移し、プライム2帯の連続首位に貢献しています。



● **スポーツ**

スポーツ番組では、阪神タイガースが優勝争いを繰り広げた、阪神戦ナイター中継が今年も好調でした。当社の阪神タイガース戦ナイターは、平均視聴率が14.0%と好成績を収めました。

● **プライム帯(午後7時～午後11時)**

金曜夜9時のABC・テレビ朝日共同制作ドラマ枠では、当期の平均視聴率で二桁を維持、特に4月クールに放送した「警視庁失踪人捜査課」は平均視聴率12.8%と好調でした。



今年1月から新たにスタートしました火曜夜8時「みんなの家庭の医学」は、当期の平均視聴率でも二桁をキープしております。日曜夜8



時の「大改造!! 劇的ビフォーアフターSEASONII」も、芸能人の実家リフォームなど新機軸を打ち出し、引き続き好調です。秋の期末期首スペシャルでは、16.2%の高視聴率を獲得しました。

また、プライム帯では、この3番組のほかに、土曜夜9時からの2時間サスペンスドラマ「土曜ワイド劇場」を月1回の割合で当社が制作しています。当期の当社制作分の平均視聴率は、15.9%と高い人気を維持しており、引き続き高いクオリティを保ちながら、より高い支持を得る作品を送り出していきよう、努めています。



「土曜ワイド劇場 遺品の声を聴く男2」

●平日平均でABCラジオがトップに!

ABCラジオは昨年7月に45%を超える大幅な改編を行いました。さらに聞きやすい流れで聞きやすい番組を、というコンセプトのもと、今年春も43.8%という大幅な改編を行いました。

平日の午前帯から午後帯にかけての強化を図るため、平日朝9時からのベルト3番組を3時間ごとに時報に合わせたスタートとし、生活時間に沿ったわかりやすい流れとしました。

この結果、今年4月度聴取率調査では、全放送時間帯平均の聴取率でFM局と並び3期ぶりに同率首位に返り咲きました。平日平均シェアでは、20.9%で単独首位となり、続く6月度調査でも数字を伸ばし、首位の座を保っています。

ABC radio



さらに、平日昼12時から、月曜日 上沼恵美子さん、火曜日 妹尾和夫さん、水、木曜日 桑原征平さん、金曜日 兵動大樹さんをそれぞれメインパーソナリティにしたトーク番組を編成しています。

火曜日の妹尾和夫さんは、昨年6月まで4時間20分という大型番組を担当しており、リスナーの方からの熱いご要望にお応えして、今回さらなる全力で臨む「とことん全力投球!!妹尾和夫です」になるの登場です。



「ABCパワフルアフタヌーン」
(月～金 昼12時放送)



春改編の大きな柱は午後3時からの「武田和歌子のぴたっと。」で、メインパーソナリティは入社10年目の節目を迎えた武田和歌子アナウンサー。女性らしいしなやかさと生活に根ざした視点、それに明るさで、関西ラジオ界の新しい機軸となることを目指しています。番組開始3ヶ月で産休に入ったことも話題になりましたが、現在は爽やかな語りが人気の加藤明子アナ(月～水)、パワーあふれるマコーマック明子さん(木、金)とふたりの女性パーソナリティが代演、長いスパンで番組をリスナーの方々とともに育てていきます。



(月～金 午前9時放送)
1周年記念公開録音



また、イベント事業では、7月に「ドッキリ!ハッキリ!三代澤康司です」の1周年記念公開録音を行ったほか、11月の「ABCラジオまつり」、来年3月の「スプリングフェスタ」を、60周年記念としてさらにパワーアップして展開します。



今年3月、IPサイマルラジオ(ラジコ)の試験配信が始まり、パソコン、モバイルなどで、ラジオがクリアな音で簡単に聞けると、好評を得ています。試験配信を11月末まで延長し、12月の実用化を目指しています。実用化後は、ラジオCMとネットを融合させた新しいビジネスモデルを確立させたいと考えています。

4月に大阪城・西の丸庭園で、「星空コンサート」を開催しました。大植英次氏指揮・大阪フィルハーモニー交響楽団の演奏が約8,000人の聴衆を魅了しました。同じく4月には舞台「ヘンリー六世」を開催。7月から9月にかけて開催した「ボストン美術館展」は、25万人を越す入場者がありました。8月には西日本最大のロックフェス「SUMMER SONIC 2010」を開催、61,000人の聴衆が舞洲の特設会場に集結しました。9月には東京セレソンドラックス公演「くちづけ」を主催し、完売の大盛況でした。その他、「侍戦隊シンケンジャー」や、「プリキュア」、「仮面ライダー」などの子供向けイベントなどを実施しました。



「SUMMER SONIC 2010」

ABCホールでは、4月に初のプロデュース公演「決戦!!ひなた荘」を主催するなど個性的なイベントが目白押しでした。



ザ・シンフォニーホールでは、4月に「ユンディ・リ オール・ショパン ピアノ・リサイタル」、6月に「ウラディーミル・アシュケナーズ×辻井伸行×オーケストラ・アンサンブル金沢」を開催。また、イベント事業部の企画で、「京都フィルハーモニー室内合奏団with岩崎宏美」や、「大改造!!劇的ビフォーアフター スペシャルコンサート」を主催しました。



コンテンツ事業 Content Business

番組コンテンツの二次利用では、今年度上半期にテレビ朝日との共同制作で放送した、金曜夜9時のドラマ「宿命」や「警視庁失踪人捜査課」のDVDをリリースしました。

また、好評を博したVol.1に引き続き、DVD「熱闘甲子園 最強伝説 Vol.2」を、そして、ベスト盤「M-1グランプリ the BEST 2007~2009」を7月に発売したほか、アニメ「プリキュア」シリーズの商品化も引き続き好調です。



金曜夜9時のドラマや「大改造!! 劇的ビフォーアフター」などの海外番組販売も台湾、香港、アメリカなど、順調に推移しています。

「上沼恵美子のおしゃべりクッキング」のレシピをまとめたムック本は9月発売分がシリーズ30巻目となり、料理本のヒットシリーズとなっています。

携帯サイトでは、今年4月から「みんなの家庭の医学」のコーナーをABCの携帯サイトから独立させて、健康に特化した新しいサービスを始めました。わずか半年間で会員数は2万人を突破し、今年度目標だった3万人も目前となっています。ABCの携帯サイトと健康サイトを合わせた有料会員数は11万人を超えて、順調に伸びています。

朝日放送は創立60周年を迎えます。 「さあ、ABCからはじめよう。」

60th
ABC Anniversary

「ABC朝日放送は、ただいまから公式放送をはじめます。」

昭和26年11月11日、朝日放送はラジオから流れるこの第一声で開局しました。

そして、平成23年、創立60周年を迎えます。

「さあ、ABCからはじめよう。」

60周年＝還暦は人生60年でもう一度始めに戻る、という意味をABCという社名を使って表現しました。

60周年を機に、もう一度初心に戻り、さらなる「強力な創造集団」を目指します。

RADIO

●「みんなで60周年 ABCラジオ」

今年11月11日午前5時～午後10時放送
創立60周年目を迎え、平日の生ワイド番組をスペシャル企画で約1008分つなぐ特別記念生番組。

●「みんなでGO!GO!60周年」今年11月13日放送
懐かしい番組の音声などを交え、ABCラジオ深夜音楽番組の変遷をなぞる特別番組

●「ABCラジオまつり2010」今年11月21日開催
たくさんの「ありがとう」な気持ちで満載して、よりスペシャルに開催。

●ABCラジオカレンダー2011
カレンダーが60周年を記念して復活しました。
人気パーソナリティの秘蔵写真も満載です。



朝日放送
創立60周年
記念映画
「君が踊る、夏」
平成22年9月11日
東映系公開



今年11月11日から平成24年3月末までを、創立60周年記念期間として、テレビ、ラジオ、イベントなどでさまざまなスペシャル企画をお送り致します。

<http://asahi.co.jp/60th/>をご覧ください。

TELEVISION

●「検事・鬼島平八郎」今年10月～12月放送（金曜夜9時）
出演：濱田雅功、内田有紀、ビートたけし（特別出演）ほか

●「関西2200万人が選ぶ ABC思い出の番組・名場面リクエストNo.1」今年11月23日午前放送

●「ABCお笑い60年史 てなもんやからM-1までいま明かされる[㊦]伝説」今年11月23日午後放送

●「芸能人格付けチェックお正月スペシャル2011」
平成23年1月1日夜6時放送
出演：浜田雅功、伊東四朗、赤江珠緒ほか

●文化財特別番組「平安の美再び」
平成23年2月11日午前放送（予定）
平等院鳳凰堂内の極楽浄土を表現した壁画などをCGで当時の姿に再現。

●スペシャルドラマ（湊かなえさんオリジナル原作）
「告白」で2009年本屋大賞を受賞された湊かなえさん書き下ろし原作のスペシャルドラマ。来年度の放送を予定しています。

この他にも、さまざまな60周年記念企画を予定しています。

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当中間期	前中間期	前 期	科目	当中間期	前中間期	前 期
	平成22年9月30日現在	平成21年9月30日現在	平成22年3月31日現在		平成22年9月30日現在	平成21年9月30日現在	平成22年3月31日現在
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	27,687	28,861	27,962	流動負債	11,484	12,919	12,492
現金及び預金	7,177	7,539	7,526	短期借入金	100	400	200
受取手形及び売掛金	11,303	11,006	11,732	1年内返済予定の長期借入金	2,020	3,050	2,030
有価証券	6,304	7,749	5,479	未払金	5,575	5,655	5,790
番組勘定	930	836	1,330	未払法人税等	206	178	290
その他	1,995	1,746	1,915	引当金	28	—	113
貸倒引当金	△ 24	△ 17	△ 22	その他	3,553	3,634	4,067
固定資産	65,373	66,191	66,958	固定負債	27,767	28,668	27,728
				長期借入金	2,020	2,040	2,030
				退職給付引当金	10,928	11,020	10,777
有形固定資産	45,450	47,733	46,406				
建物及び構築物(純額)	23,764	24,579	24,115	引当金	45	57	45
土地	10,568	10,644	10,568	負ののれん	259	430	345
その他(純額)	11,117	12,508	11,722	その他	14,513	15,119	14,529
無形固定資産	1,448	1,776	1,629	負債合計	39,251	41,587	40,220
のれん	83	116	99	(純資産の部)			
その他	1,365	1,660	1,530	株主資本	50,735	49,627	51,128
投資その他の資産	18,474	16,681	18,922	資本金	5,299	5,299	5,299
投資有価証券	10,426	—	11,281	資本剰余金	3,610	3,610	3,610
その他	8,070	16,704	7,663	利益剰余金	42,217	40,718	42,218
貸倒引当金	△ 22	△ 23	△ 22	自己株式	△ 391	△ 0	△ 0
資産合計	93,061	95,052	94,921	評価・換算差額等	224	1,059	700
				その他有価証券評価差額金	224	1,059	700
				少数株主持分	2,849	2,777	2,872
				純資産合計	53,809	53,465	54,700
				負債純資産合計	93,061	95,052	94,921

(注)1.金額は、百万円未満を切捨表示しております。

2.当社は四半期連結財務諸表規則を採用しておりますが、本表では中間と読み替えて表示しております。

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期	前中間期	前 期
	平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
売上高	37,709	37,618	76,068
売上原価	25,634	26,193	51,102
売上総利益	12,074	11,424	24,965
販売費及び一般管理費	11,438	11,563	22,645
営業利益又は営業損失(△)	635	△ 139	2,320
営業外収益	228	263	397
営業外費用	125	138	271
経常利益又は経常損失(△)	738	△ 14	2,446
特別利益	19	—	615
特別損失	420	—	193
税金等調整前中間(当期)純利益 又は税金等調整前中間純損失(△)	338	△ 14	2,867
法人税等	135	△ 14	1,088
少数株主損益調整前 中間純利益	202	—	—
少数株主利益又は 少数株主損失(△)	△ 25	75	165
中間(当期)純利益 又は中間純損失(△)	228	△ 75	1,613

(注)1.金額は、百万円未満を切捨表示しております。

2.当社は四半期連結財務諸表規則を採用しておりますが、本表では中間と読み替えて表示しております。

剰余金の配当に関する事項

		当 期	前 期
1株当たり 配当金	中間期末	普通配当 4.5円	普通配当 45円
	期 末	普通配当 4.5円(予想)	普通配当 記念配当 45円 10円
	年 間	9円(予想)	100円

(注)平成22年7月1日付で、普通株式1株を10株に分割し、単元株式数を10株から100株に変更しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期	前中間期	前 期
	平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,156	4,374	7,626
投資活動によるキャッシュ・フロー	△886	30	△2,742
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,170	△1,094	△2,936
現金及び現金同等物の増減額	99	3,310	1,947
現金及び現金同等物の期首残高	12,666	10,718	10,718
現金及び現金同等物の中間期末 (期末)残高	12,766	14,029	12,666

(注)1.金額は、百万円未満を切捨表示しております。

2.当社は四半期連結財務諸表規則を採用しておりますが、本表では中間と読み替えて表示しております。

■ 株主優待制度

● 対象の株主様

毎年3月31日現在および9月30日現在の株主名簿に記録された1単元以上所有の株主の皆様。

● 株主優待の内容

所有株式数に関係なく、1単元以上所有の株主の皆様に対して、番組特製オリジナルQUOカード(500円分)1枚を贈呈致します。

会社の概況 (平成22年9月30日現在)

会社名	朝日放送株式会社 Asahi Broadcasting Corporation
創立	昭和26年3月15日
資本金	52億9,980万円
従業員数	644名
事業内容	放送法および有線放送法による 一般放送事業 他
本社	〒553-8503 大阪市福島区福島一丁目1番30号 Tel.(06)6458-5321(代表)

役員 (平成22年9月30日現在)

代表取締役社長	渡辺 克信	取締役	古川 賢三
代表取締役専務取締役	和田 省一	取締役	川村 恒雄
専務取締役	脇阪 聰史	取締役	渡辺興二郎
常務取締役	福田 正史	取締役	大塚 義文
常務取締役	田仲 拓二	常勤監査役	木下 栄一
取締役	領木新一郎	常勤監査役	山本 良生
取締役	脇 英太郎	監査役	白賀 洋平
取締役	山口 昌紀	監査役	橋本 宗利
取締役	坂井 信也	監査役	野村 正朗
取締役	早河 洋		
取締役	横井 正彦		

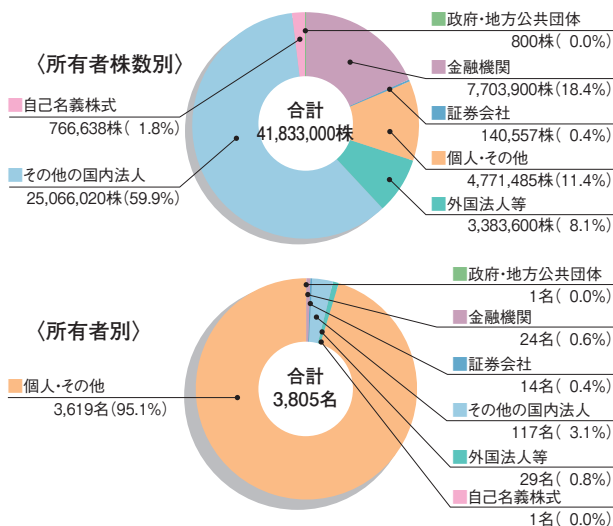
株式の概況 (平成22年9月30日現在)

●発行可能株式総数	144,000,000株
●発行済株式総数	41,833,000株
●株主数	3,805名
●大株主	

株主名	所有株式数	議決権比率
株式会社朝日新聞社	6,224,900 株	15.2 %
株式会社テレビ朝日	3,877,600	9.4
財団法人雪香美術館	2,930,000	7.1
学校法人帝京大学	1,554,000	3.8
朝日新聞信用組合	1,500,000	3.7
日本生命保険相互会社	1,256,500	3.1
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	1,010,000	2.5
大阪瓦斯株式会社	855,000	2.1
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	825,000	2.0
近鉄バス株式会社	800,000	1.9

(注)平成22年7月1日付で、普通株式1株を10株に分割し、単元株式数を10株から100株に変更しております。

●株式分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月中

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 大阪府中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪府中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 0120-176-417

(ホームページURL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

公告の方法 当社のホームページに掲載する。
(<http://asahi.co.jp>)

<http://asahi.co.jp>

当社のホームページもご覧ください。

朝日放送株式会社

〒553-8503 大阪府福島区福島一丁目1番30号
TEL 06-6458-5321 (代表)

